

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 17 日作成)

小委員会名	室内微生物制御マニュアル作成小委員会		主 査 名：菅原 文子 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：井上 勝夫 主 査 名：加藤 信介
設 置 期 間	2007 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・2007 年度：微生物 AIJES の刊行 (2005/1/31) を受けて、新に“花粉”や“環境と微生物の関連”等を加え、「室内微生物制御マニュアル」を刊行すべく最新資料の検討と目次および執筆担当者を決め、WD(ウキンドラフト)に続く CD を作成した。</p> <p>・2008 年度：内部査読および外部査読を終了し、10 月 10 日にシンポジウムを開催した。その結果を F D に反映させ、『室内微生物汚染とその対策』として学会委託出版物として刊行する。原稿の出版社提出は 2 月末を予定。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 菅原文子(元郡山女子大学) 吉澤晋(国立保健医療科学院) 横山真太郎(北海道大学) 柳宇(国立保健医療科学院) 諸岡信久(郡山女子大学) 高鳥浩介(国立医薬品食品衛生研究所) 大橋えり(福井大学) 湯懐鵬(新菱冷熱株式会社) 小竿真一郎(日本工業大学)		
設置 WG (WG 名:目的)	なし		
2008 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価	
委員会開催数	7 回(年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)		
講習会		
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. シンポジウム「建築物に於ける微生物汚染とその対策」 (資料名) 同上	参加者数 41 名
大会研究集会		
対外的意見表明・パブリックコメント等		
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「室内微生物制御マニュアル」の執筆：100% 2. CD (コミッティードラフト) 完成と外部査読者への提出および結果対応：100%	
委員会活動の問題点・課題	1. 学会マニュアル書として予定した「室内微生物制御マニュアル」を学会委託出版物「室内微生物汚染とその対策」に変更した。	

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2008 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>B</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>1. 41名の参加を得てシンポジウム「建築物に於ける微生物汚染とその対策」を開催し、各種分野からの室内微生物汚染制御に対する関心の深さを実感した。 2. 前述した、学会マニュアル書として予定した「室内微生物制御マニュアル」を学会委託出版物「室内微生物汚染とその対策」に変更した。 3. 2009年2月中に原稿を出版社へ提出し、新年度をまたいでの刊行が予想される。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。